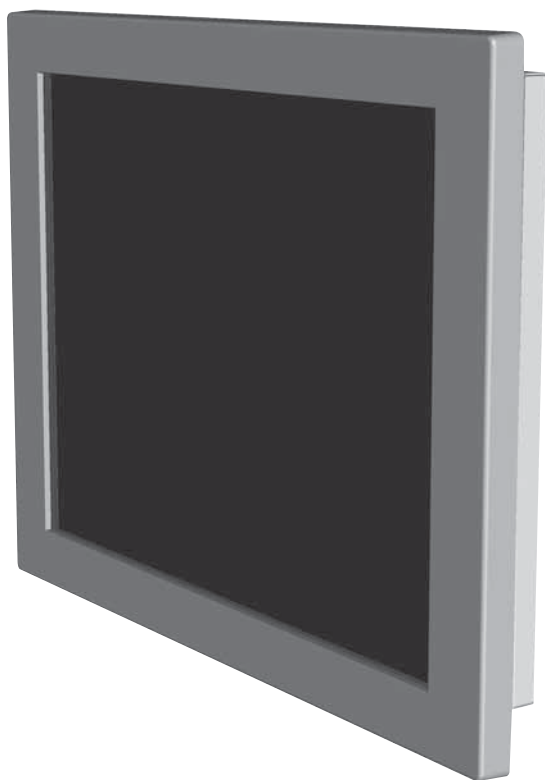


# MEE

## 15型タッチパネルモニター 形名

# TSD-ST1518-M

## 取扱説明書



■この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、タッチパネルモニターをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。

■保証書は大切に保管してください。

インターネットホームページ：  
<http://www.mee.co.jp/sales/visual/touch-monitor/>

製品情報などを提供しています。

### 超音波表面弾性波方式

もくじ	ページ
1. ご使用前の……	2
2. 安全のために必ず守ること……	3
3. 各部の名称……	6
* 本体背面（コントロール部）……	6
* 本体背面（接続部）……	7
* 付属品の確認……	7
4. 接続……	8
* 電源の接続……	8
* ケーブルの接続……	9
* ケーブルの固定……	9
5. 画面調節……	10
* 画面の調節……	10
* OSD機能……	10
6. 機能……	12
* 自動画面表示……	12
* パワーマネジメント機能……	12
* タッチドライバのインストール……	13
7. お客様筐体への取付……	15
* 取付上のご注意……	15
8. 困ったとき……	16
* 故障かな？と思ったら……	16
* お手入れ……	18
* アフターサービス……	18
9. 付録……	19
* 仕様……	19
* さくいん……	20

ご使用前の  
安全のために……

各部の  
名称

接続  
画面  
調節

機能

困ったとき  
お客様  
筐体への  
取付

付  
録

# 1 ご使用の前に



この装置は、VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本機は本機推奨の電源セット(ACアダプタ、電源コード)および付属のケーブル類を使用した状態でVCCI基準に適合しています。




- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。




Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。



この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。  
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。


 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋家財などの損害に結びつくもの
---	--	---	-----------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。
	絶対に分解・修理はしないでください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

	必ず指示に従いおこなってください。
	必ずアースリード線を接地(アース)してください。
	高圧注意(本体後面に表示)

-  **お願い** : 取扱い上特に守っていただきたい内容
-  **おしらせ** : 取扱い上参考にしていただきたい内容

-  : 参考にしていただきたいページ
- 【ミニ解説】** : 専門用語の簡単な説明

## 2 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

### 警告

#### 万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。  
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

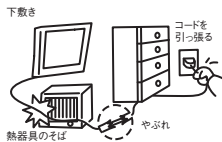
故障(画面が映らないなど)や  
煙、変な音においがするときは  
使わない



使用禁止

火災・感電の原因になります。

電源コードを傷つけない



傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、  
無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を  
加えたりしないでください。コードが破損  
して火災・感電の原因になります。

傾斜面や不安定な場所に置かない



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になり  
ます。

修理・改造をしない



修理・改造禁止

けが・火災・感電の原因  
になります。

異物を入れない

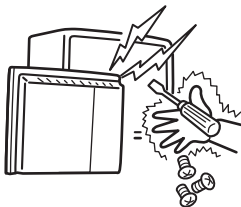
特にお子さまにご注意



禁止

火災・感電の原因になります。  
通風口などから金属類や燃えやすいもの  
などが入ると、火災・感電の原因になります。  
万一入った場合はすぐに電源を切り、電源  
プラグをコンセントから抜いて販売店にご  
相談ください。

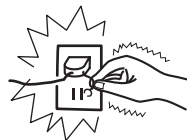
裏ぶたを外さない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると  
感電の原因になります。

アースリード線を挿入・接触しない



禁止

電源プラグのアースリード線を電源コンセ  
ントに挿入・接触させると火災・感電の原因  
になります。

ポリ袋で遊ばない

特にお子さまにご注意



禁止

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の  
原因になります。

正しい電源電圧で使用する



指定の電源電圧以外で使用すると  
火災・感電の原因になります。

風呂場や水のかかる所に置かない

水などがタッチパネルモニターの内部に入った場合は  
すぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから  
抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのま  
ま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。



水ぬれ禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。  
感電の原因になります。



接触禁止

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出した場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。中毒を起こす恐れがあります。万一口に入ってしまったら、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類についてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。



警告

ご使用の前に  
安全のために...

# ⚠ 注意

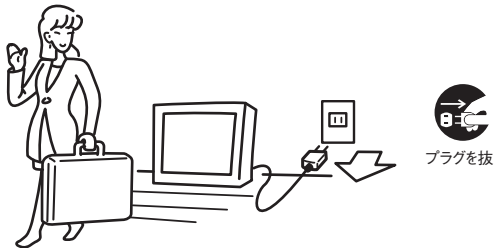

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

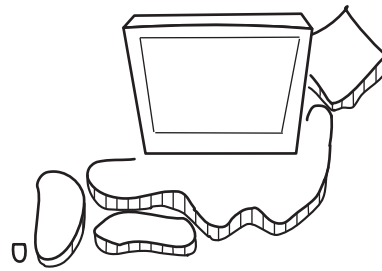

<p><b>狭い所に置かない</b></p>  <p>設置禁止</p>	<p><b>おお向けや横倒し、さかさまにしない</b></p>  <p>禁止</p>	<p><b>直射日光や熱器具のそばに置かない</b></p>  <p>設置禁止</p>
<p><b>布などで通風孔をふさがない</b></p>  <p>禁止</p>	<p><b>屋外での使用禁止</b></p>  <p>屋外での使用禁止</p> <p>本製品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。</p>	<p><b>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</b></p>  <p>設置禁止</p>
<p><b>車載用禁止</b></p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>		
<p><b>タッチパネルに衝撃を加えない</b></p> <p>タッチパネル面を固いもので叩いたりして衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。</p>  <p>禁止</p>	<p><b>接続線をつけたまま移動しない</b></p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線を外したことを確認のうえ、移動してください。</p>  <p>禁止</p>	
<p><b>電源プラグを持って抜く</b></p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p>  <p>プラグを持つ</p>	<p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p> <p>感電の原因になります。</p>  <p>ぬれ手禁止</p>	
<p><b>電源プラグのアースリード線を接地(アース接続)する</b></p> <p>故障のときに感電の原因になります。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>  <p>接地</p>	<p><b>お手入れの際は電源プラグを抜く</b></p> <p>感電の原因になります。During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p>  <p>プラグを抜く</p>	
<p><b>電源プラグを奥まで差し込む</b></p> <p>電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p>  <p>抜けかかり禁止</p> <p>しっかり差し込んで</p>	<p><b>タッチパネルモニターを廃棄する場合</b></p> <p>本機を廃棄する際は法律に従ってください。詳細は、所在の地方自治体に問い合わせてください。</p>	

ご使用の前に  
安全のために...

# ⚠ 注意

<p><b>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</b></p>  <p style="text-align: center;">プラグを抜く</p> <p>火災の原因となることがあります。</p>	<p><b>電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く</b></p> <p>火災の原因になります。 1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p>  <p style="text-align: center;">ほこりを取る</p>
---	--

## タッチパネルモニターの手順正しい使い方

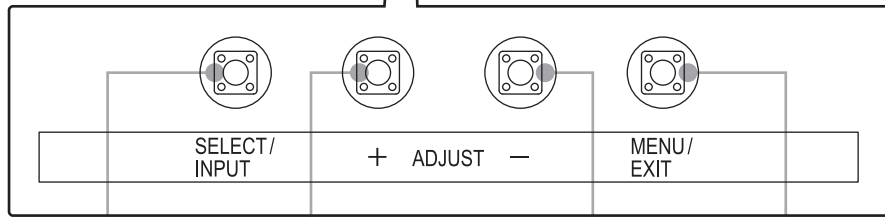
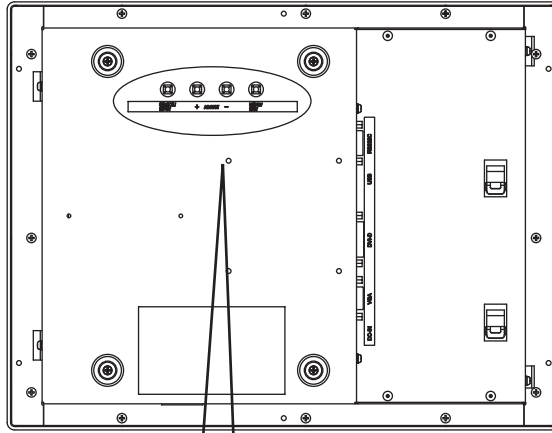
<p><b>日本国内専用です</b></p>  <p style="text-align: center;">国内専用</p> <p>このタッチパネルモニターは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。</p> <p>This Touch monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>	<p><b>上手な見方</b></p> <p>画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくして目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p> <hr/> <p><b>タッチパネルモニターのお手入れ</b></p>  <p>タッチパネルモニターの表面にほこりや汚れがついているときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、叩いたりしないでください。また、液晶パネルは壊れやすいので強く押ししたり、強い力を加えたりしないでください。パネルの表面が変色したり、変質するなどの原因となりますので、OAクリーナーは使用しないでください。</p>
--	--

**お知らせ**

**残像について**  
 残像とは、長時間同じ画面を表示していると、表示画面を変えたときに前の画面表示が残る現象です。故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。  
 「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。  
 本機液晶パネルにおきましては、黒い画面が多いスクリーンセーバーで残像が発生する可能性が高いのでご注意ください。

### 3 各部の名称

#### ※ 本体背面(コントロール部)



#### SELECT/INPUTボタン

OSD画面が表示されていないとき  
信号入力コネクタを切り替えます。  
OSD画面が表示されているとき  
調節グループの決定/解除をおこないます。

#### +ボタン (調節ボタン)

OSD画面が表示されていないとき(ホットキー機能)  
長押しすると、自動画面調節を実行します。  
OSD画面が表示されているとき  
「SELECT/INPUT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

#### -ボタン (調節ボタン)

OSD画面が表示されていないとき(ホットキー機能)  
ブライトネス調節画面を表示します。  
OSD画面が表示されているとき  
「SELECT/INPUT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

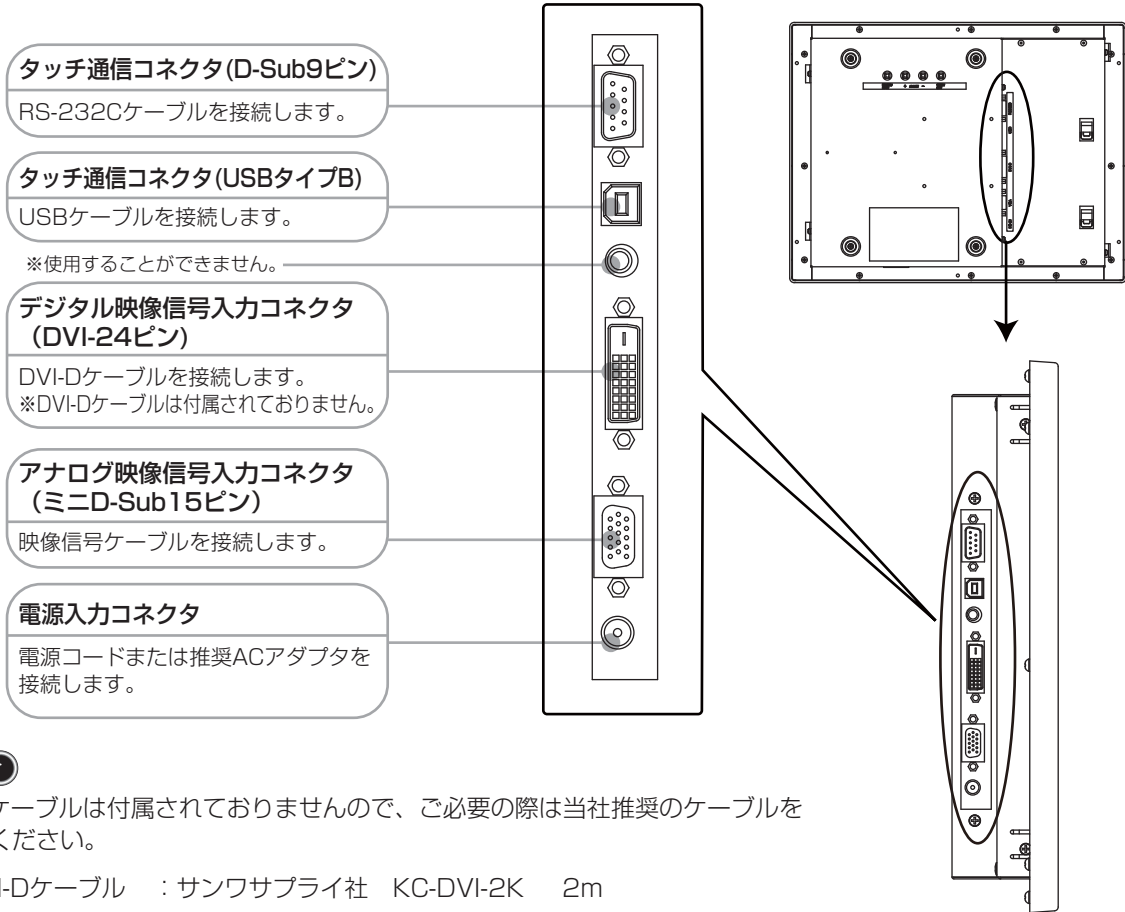
#### MENU/EXITボタン

OSD画面が表示されていないとき  
OSD画面を表示します。  
OSD画面が表示されているとき  
表示中のOSD画面を消します。また、OSD機能の操作中には1つ上の画面に入ります。

#### おしらせ

- 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD機能」(P10)をご覧ください。

## ※ 本体背面(接続部)



### おしらせ

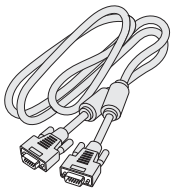
DVI-Dケーブルは付属されておりませんので、ご必要の際は当社推奨のケーブルをご購入ください。

DVI-Dケーブル : サンワサプライ社 KC-DVI-2K 2m

## ※ 付属品の確認

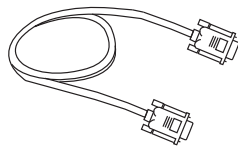
お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。  
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

① 映像信号ケーブル



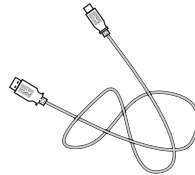
ミニD-Sub 15 - ミニD-Sub 15  
フェライトコア2つ付

② タッチ通信ケーブル

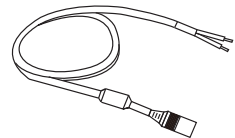


D-Sub 9ピン - D-Sub 9ピン  
フェライトコアなし

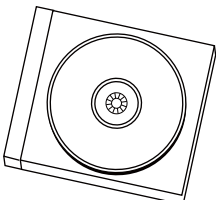
③ タッチ通信ケーブル(USB)  
タイプA - タイプB



④ 電源コード



⑤ タッチドライバのCD-ROM

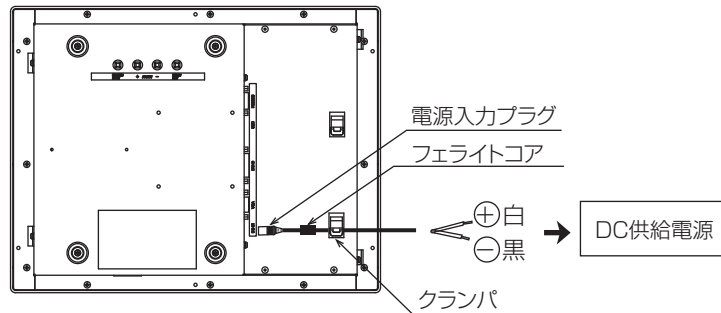


## 4 接続

### ※ 電源の接続

#### 1. 付属の電源コード使用時

付属の電源コードをタッチパネルモニター背面の電源入力コネクタに接続後、DC(12V) 供給電源に接続してください。



お願い

- コンピュータに接続する前に、タッチパネルモニター、コンピュータおよび周辺接続機の電源を切ってください。

#### ⚠ 警告

【当社推奨 AC アダプタと電源コードは別売（形名：TSD-PS2）となっております。】

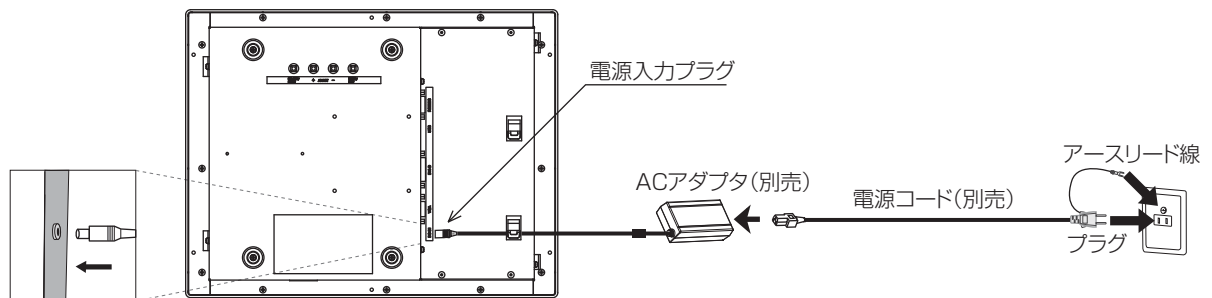
AC アダプタの電源入力プラグをタッチパネルモニター背面の電源入力コネクタに接続後、電源コードのコネクタ側を AC アダプタに接続しプラグを AC100V 電源コンセントに接続してください。コンピュータの電源コンセント側に接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A 以上必要です。）

#### 2. 電源セット（AC アダプタ、電源コード：別売）使用時

アースリード線を接地（アース接続）してから電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続してください。コンピュータ本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A 以上必要です。）

お願い

- コンピュータに接続する前に、タッチパネルモニター、コンピュータおよび周辺接続機の電源を切ってください。



#### ⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 電源コードのアースリード線は必ず接地（アース）してください。故障のときに感電の原因となります。また、電源コードのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードは AC100V 専用です。AC100V 以外でご使用になる場合は、別途電源電圧に合った電源コードをご用意ください。

お願い

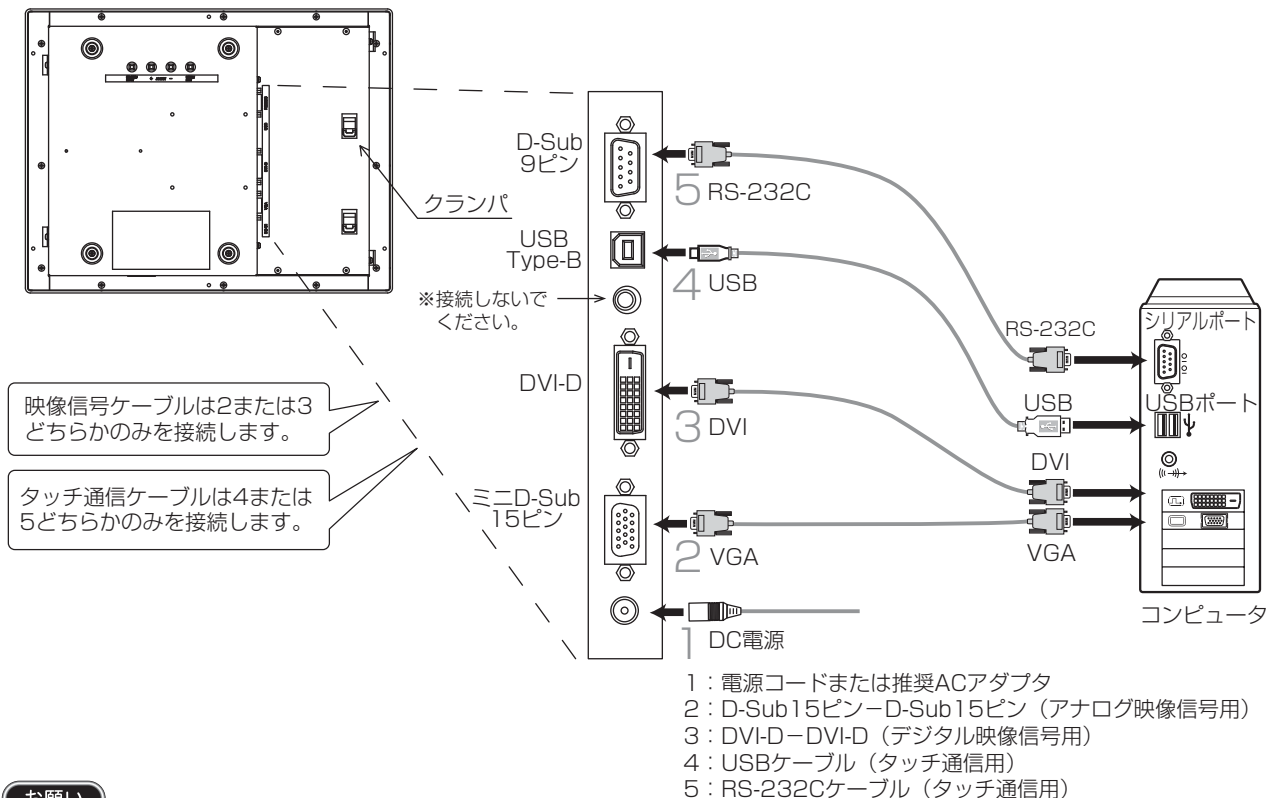
電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.



## ＊ ケーブルの接続

ケーブルは、接続後それぞれの固定ネジで確実に固定してください。



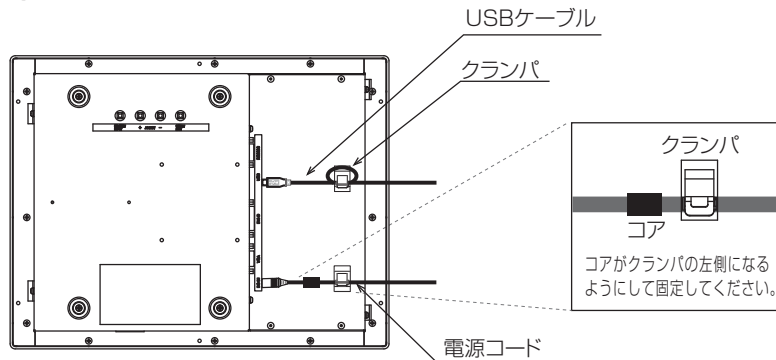
### お願い

- ケーブルを接続する前に、本機、コンピュータおよび周辺機器の電源を切ってください。
- タッチ通信コネクタ(USBタイプB)と映像信号入力コネクタ(DVI-24ピン)の間のコネクタは使用することができませんので、接続しないでください。

### お知らせ

USBの接続は、USBハブなどを介さず、直接コンピュータに接続することをおすすめします。

## ＊ ケーブルの固定



### お願い

- USBケーブル使用の際は、USBケーブルが容易に抜けないう上図のようにケーブルで輪を作った状態でクランパを固定してください。
- 付属の電源コード使用の際には電源入力プラグが容易に抜けないう上図のようにクランパにコードを通し、フェライトコアがクランパに引っかかるように固定してください。
- 電源セット使用の際は固定方法が異なりますので、電源セットの取扱説明書をよくお読みになり、ACアダプタのケーブルが容易に抜けないうクランパに固定してください。

# 5 画面調節

## ※ 画面の調節

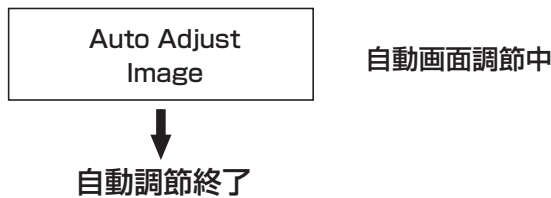
画面の調節方法として「自動画面調節」と「マニュアル画面調節」の2種類があります。本機をコンピュータと接続したときは、最初に「自動画面調節」をおこなってください。その後、調節をおこなう必要がある場合は、「マニュアル画面調節」をおこなってください。

### お知らせ

- 本機は水平周波数:30.0~61.0kHz、垂直周波数:55.0~75.4Hz 対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては表示できない場合があります。その場合は、コンピュータのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。

### 1. 自動調節

- (1) 本機、およびコンピュータの電源を入れてください。
- (2) 背面の「+」を長押ししてください。自動画面調節を開始します。入力された信号を検出し、「Display Width」、「Phase」、「H-Position」、「V-Position」の自動調節を開始します。自動調節中は「Auto Adjust Image」の文字が表示されます。



### お知らせ

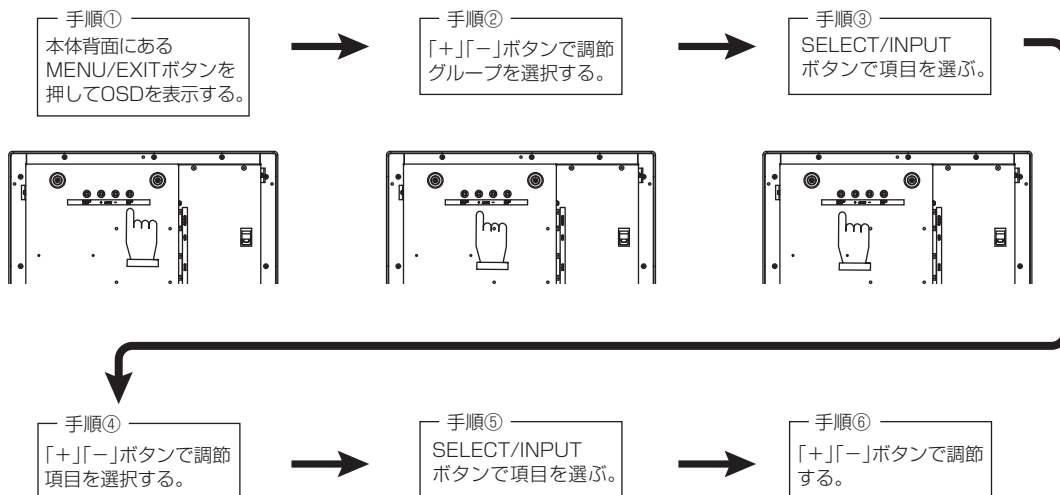
- DOSプロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合、単色の画像の場合は、自動画面調節がうまく機能しない場合があります。
- コンピュータやビデオカードによっては、自動画面調節がうまく機能しない場合があります。この場合、マニュアル画面調節でお好みの画面に調節してください。

### 2. マニュアル調節

- (1) 本機およびコンピュータの電源を入れてください。
- (2) 「OSD機能」( P10)を参照のうえ、調節項目を選択します。
- (3) 調節ボタンを押してお好みの画面に調節します。

## ※ OSD機能

本機にはOSD(On Screen Display)機能がついていますので、OSD画面により画面の調節などができます。



その他、OSDで操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

## ■OSD画面調節項目

グループメニュー	アイコン	調整項目	機能（調節内容）
Bright Contrast 		Brightness	画面の明るさを調節します。
		Contrast	コントラストを調節します。
		Reset Bright & Cont	Brightness と Contrast を出荷状態の設定に戻します。
		Exit	このグループの調節を終了します。
Color Control 		Auto Color	映像信号に適した色合いで表示します。（アナログ接続の場合のみ）
		Color Temperature	USER、6500K、9300K を選択します。 USER のみ色温度の調節ができます。
		Exit	このグループの調節を終了します。
Image Control 		Auto Image	左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、左右の画面サイズ、位相を自動調節します。（アナログ接続の場合のみ）
		Display Width	左右の画面サイズを調節します。（アナログ接続の場合のみ）
		Phase	画面のにじみ・ノイズ（クロック位相）を調節します。 （アナログ接続の場合のみ）
		H-Position	左右方向の表示位置を調節します。（アナログ接続の場合のみ）
		V-Position	上下方向の表示位置を調節します。（アナログ接続の場合のみ）
		Exit	このグループの調節を終了します。
Tool 		Sharpness	表示のシャープさを調節します。
		Audio	使用できません。
		Change Input	信号入力コネクタを切り替えます。（アナログ・デジタル）
		Expansion Mode	画面拡大の設定を行います。（Full、Aspect、Real）
		Reset	出荷状態の設定に戻します。
		Exit	このグループの調節を終了します。
OSD Control 		OSD Timer	OSD 表示が自動終了するまでの期間を設定します。
		OSD H-Position	OSD の水平表示位置の調整が可能です。
		OSD V-Position	OSD の垂直表示位置の調整が可能です。
		OSD Direction	OSD の表示方向の設定が可能です。
		OSD Lock	誤って調節してしまうことを防ぐために、OSD メニューを操作禁止にします。
		Exit	このグループの調節を終了します。
Information 		Resolution	画面の解像度が表示されます。
		Frequency	水平・垂直同期信号の周波数が表示されます。
		Version	内蔵ソフトウェアのバージョンが表示されます。
Exit 			OSD 調節を終了します。

### おしらせ

- 調節後、OSDの初期画面に戻る際には「MENU/EXIT」ボタンを押すか、Exitアイコンを選択してください。
- OSD LOCK機能  
OSD LOCK画面を表示している状態で、操作をおこないます。  
【OSDメニューの操作をLOCKする】  
OSD LOCKの項目を表示させ「SELECT/INPUT」を押しながら「+」を長押しするとOSDがLOCKされます。  
【LOCKを解除する】  
OSDが表示されている状態で「SELECT/INPUT」を押しながら「+」を長押しするとLOCKが解除されます。
- HOT KEY機能  
OSDが表示されていない状態で「-」を押すとBrightnessを直接調節できます。  
OSDが表示されていない状態で「+」を長押しすると自動画面調節を開始します。

## 6 機能

### ※ 自動画面表示

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピュータに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピュータによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によっては、うまく表示できないこともあります。その場合は画面調節（**Ⓜ** P10）をおこなってください。工場プリセットタイミングで表示したあとでも、調節ボタンでお好みの画面に調節（**Ⓜ** P10）できます。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

工場プリセットタイミング 解像度	走査周波数		同期信号極性		備考
	水平	垂直	水平	垂直	
720 x 400	31.5kHz	70Hz	負	正	TEXT
640 x 480	31.5kHz	60Hz	負	負	VGA@60Hz
640 x 480	37.9kHz	72Hz	負	負	VGA@72Hz
640 x 480	37.5kHz	75Hz	負	負	VGA@75Hz
800 x 600	37.9kHz	60Hz	正	正	SVGA@60Hz
800 x 600	48.1kHz	72Hz	正	正	SVGA@72Hz
800 x 600	46.9kHz	75Hz	正	正	SVGA@75Hz
1024 x 768	48.4kHz	60Hz	負	負	XGA@60Hz
1024 x 768	56.5kHz	70Hz	負	負	XGA@70Hz
1024 x 768	60.0kHz	75Hz	正	正	XGA@75Hz

※工場プリセットタイミングの順番は、上記とは異なります。

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 本機は 10 種類のタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリ機能）。記憶させたい信号を入力し、OSD 機能でお好みの画面に調節（**Ⓜ** P10）するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「リセット」を実行するとすべてのユーザーメモリに記憶された値が消去されます。
- 本機は水平周波数：30.0～61.0kHz、垂直周波数：55.0～75.4Hz 対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。  
この場合は、コンピュータの周波数、または解像度を変更してください。
- インターレース信号には対応していません。
- 工場プリセットタイミングと走査周波数が同一で解像度が異なる入力信号の場合、正常に表示されない場合があります。

#### おしらせ

- 解像度 1024 × 768 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

### ※ パワーマネージメント機能

コンピュータを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

#### おしらせ

- この機能はVESA DPMS対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピュータと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力は以下のとおりです。

モード	消費電力
通常動作時	16W以下
パワーセーブモード時	3W以下

【ミニ解説】 DPMS : Display Power Management Signaling の略です。

#### おしらせ

- パワーマネージメント機能を解除することはできません。
- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにもかかわらず、ビデオ信号(R, G, B)が出力されているようなコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。
- タッチ操作またはキーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。  
画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピュータと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピュータの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。
- 本機のタッチコントローラはパワーマネージメント機能動作中でも動作しています。

## ※ タッチドライバのインストール

本機のタッチドライバは、Windows®2000/Windows®XP/WindowsVista®/Windows®7/Windows®8.1に対応しています。

付属のCD-ROMより、タッチドライバをインストールください。詳しくはCD-ROMに収録されているユーザーズガイドをご覧ください。

Windows®2000/Windows®XP/WindowsVista®/Windows®7/Windows®8.1が起動している状態で、このCD-ROM をドライブにセットすると、自動的にメニュー画面が表示されます。

### お願い

- インストールする場合は、管理ユーザー(Administrator)でログインしてください。

### おしらせ

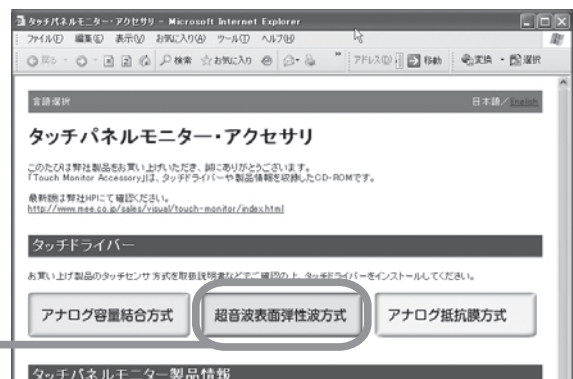
- Windows®3.1、WindowsNT®4、OS/2、Macintosh 等では使用できません。

### ドライバインストール方法

- 1 CD-ROM より、タッチドライバをインストールください。このCD-ROM をドライブにセットすると、自動的にメニュー画面が表示されます。  
※自動的に表示されない場合は、マイコンピュータ内のCD-ROM アイコンをダブルクリックするか、CD-ROM のルートフォルダの「index.html」をダブルクリックしてください。

- 2 本機は「超音波表面弾性波方式」のタッチパネルを内蔵しておりますので「超音波表面弾性波方式」ボタン(青色)をクリックしてください。

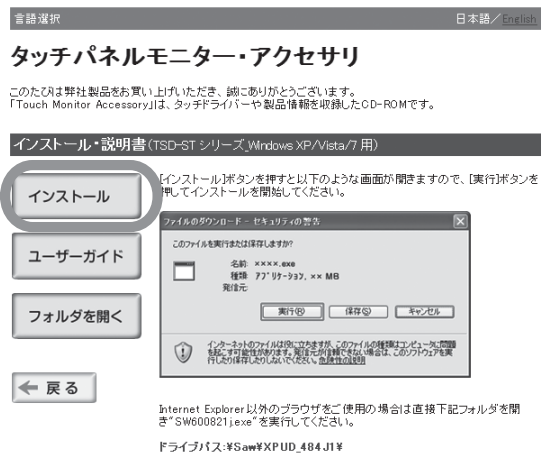
- 3 ご使用のOSを選択ください。



4 「インストール」をクリックしてください。

**お願い**

- タッチドライバのインストールを始める前に必ず「ユーザーガイド」をクリックして、説明書をお読みください。



5 右記のようなウィンドウが表示されますので、「実行」をクリックしてください。

6 右記のようなウィンドウが表示されますので、「Unzip」をクリックしてください。

7 インストールを開始します。「ユーザーガイド」に従ってインストールしてください。

8 インストール後、タッチの位置補正(キャリブレーション)をおこなってください。詳しくは、「ユーザーガイド」を参照してください。

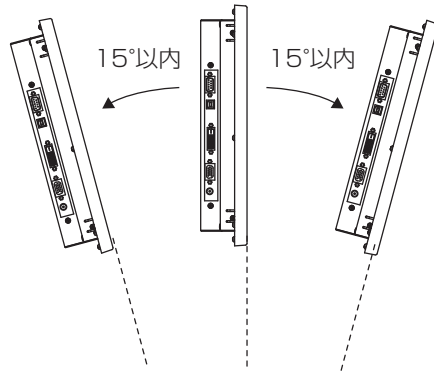
## 7 お客様筐体への取付

### ※ 取付上のご注意

#### 1. 取付角度

本機は垂直取付を基本としています。

斜めに設置する場合は、傾斜角度を15°以内としてください。



#### ⚠ 注意

本機を上向き、または下向きでは使用しないでください。



#### 2. 取付ネジ

お客様筐体やVESA規格アームへの取付けに使用のネジは、M4を準備してください。

#### ⚠ 注意

指定以外のネジを使用した場合はけがや故障の原因になります。

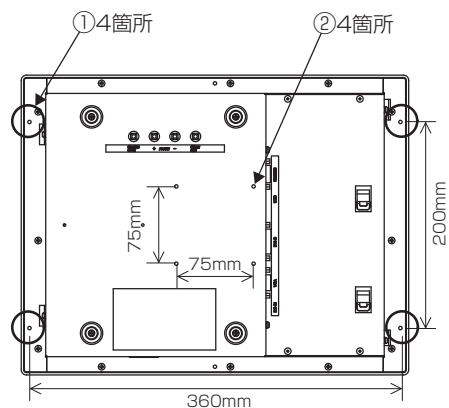
ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(ただし、締め付けすぎるとネジが壊れることがあります。98~137N・cmが適切な締め付けトルクです。)

取付ネジのタッチパネルモニター側への入り込み深さは次のとおりとしてください。

- ①お客様筐体取付穴(4箇所) : MAX10mm
- ②VESA規格アーム取付穴(4箇所) : MAX10mm  
(取付ピッチ:75mm)

#### お願い

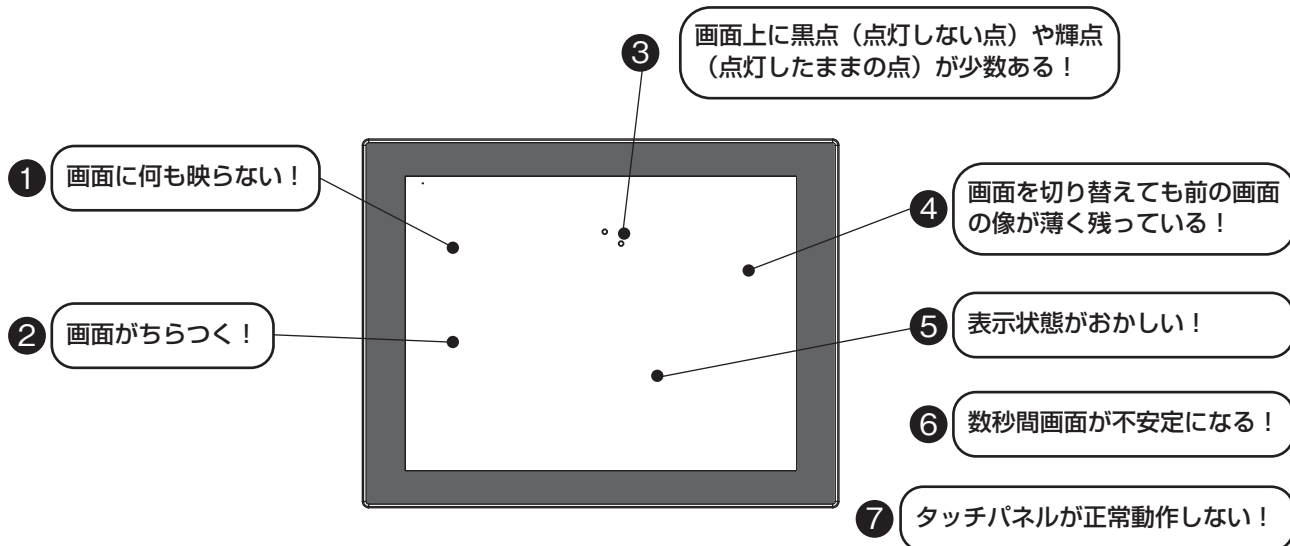
- 取付けはお客様の責任においておこなってください。  
万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- タッチパネルモニターを倒したまま固定できないときは、2人以上で取付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- VESA規格アームの取付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。





## 8 困ったとき

### ※ 故障かなと思ったら・・・



このようなときは・・・

チェックしてください。

#### ① 画面に何も映らない！

- (1) 電源コードを正しく接続してください。
- (2) 正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。
- (3) OSD 画面で「Contrast」および「Brightness」を調節してください。（OSD 画面が表示されれば本機は正常です）（☞ P11）
- (4) コンピュータとの接続を確認してください。
- (5) パワーマネジメント機能が作動していると画面が表示されません。タッチ操作またはキーボードの適当なキーを押すかマウスを動かしてください。（☞ P12）
- (6) 映像信号ケーブルを正しく接続してください。
- (7) コンピュータの電源が「切」になっていないか確認してください。

#### ② 画面がちらつく！

- (1) 分配器を使用している場合は、コンピュータに直接入力してください。
- (2) OSD メニュー「Image Control」の「Phase」を選択し調節してください。
- (3) 上下にちらつく場合は、コンピュータのリフレッシュレートを 60Hz に設定してください。

#### ③ 画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）が少数ある！

- (1) 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。

#### ④ 画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている！

- (1) 長時間同じ静止画面を表示すると、このような現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は 1 日程度で自然に消えます。



このようなときは……

チェックしてください。

⑤ 表示状態がおかしい！

- (1) 液晶パネルはLEDバックライトを使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。  
また、周囲温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。
- (2) 視野角（画面を見る角度）によっては、色合いの変化が大きくなります。  
タッチパネルモニターの設置角度を調節してください。  
液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。
- (3) 表示色がおかしい場合は、OSDメニュー「Color Control」の「Color Temperature」の「USER」を選択し、お好みの色の割合を調節するか、「Tool」の「Reset」で工場出荷設定に戻してください。

⑥ 数秒間画面が不安定になる！

- (1) ご使用のコンピュータによっては、入力信号を切り替えると画面が数秒間不安定になることがありますが、故障ではありません。

⑦ タッチパネルが正常動作しない！

- (1) タッチドライバのユーザズガイドに従ってタッチドライバが正しくインストールされていることを確認してください。
- (2) タッチ通信ケーブルを確実に接続してください。
- (3) キャリブレーションをおこなってください。（詳しくはタッチドライバ用ユーザズガイドをご覧ください。）
- (4) パソコン（システム）の立ち上げ時には、周辺機器の認識をおこなっており、タッチ操作をおこなうと正常な認識ができませんので、システムが完全に立ち上がったあとに操作をおこなってください。
- (5) タッチパネルモニターに電源を入力してから約5秒間はタッチコントローラがイニシャライズ中のため正常に感知しないことがあります。5秒間以上経ってから操作してください。
- (6) 水滴、ゴミ、汚れ等をきれいに拭き取ってから、電源を入れなおしてください。

## ※ お手入れ

### 定期的にお手入れを

タッチパネルモニターをより良い状態でご使用いただくため、定期的にタッチパネルのお手入れをおこなってください。

お手入れの際は、電源コードを抜いてから、柔らかい布で軽く拭き取ってください。

電源を入れたままお手入れをおこなうと、タッチパネルが反応し、故障の原因となります。

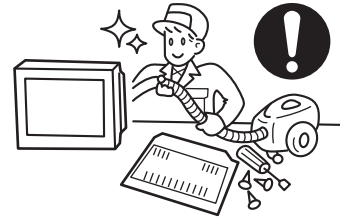
汚れがひどいときには水に浸した布をよくしぼって拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



### 1年に1度は内部の掃除を

販売店におまかせください。定期的な掃除は火災、故障を防ぎます。特に梅雨期の前におこなうのが効果的です。

内部掃除費用については販売店にご相談ください。



## ※ アフターサービス

- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| ●お名前              | ●製造番号(本機背面のラベルに記載)    |
| ●ご住所(付近の目標など)     | ●故障の症状、状況など(できるだけ詳しく) |
| ●電話番号             | ●購入年月日または使用年数         |
| ●品名: タッチパネルモニター   |                       |
| ●形名: TSD-ST1518-M |                       |

## 9 付録

### ※ 仕様

項 目		仕 様	
TFT カラー 液晶パネル	サイズ	15 型 (38.1cm) TFT カラー液晶パネル	
	表示画素数	1024(H) × 768(V)	
	画素ピッチ	0.297mm	
	アスペクト比	4 対 3	
	画素配列	R,G,B 縦ストライプ	
	視野角 (標準)	± 80° (左右)、70° (上下)、CR ≥ 10	
	コントラスト比 (標準)	700 : 1	
	バックライト	LED	
タッチパネル および コントローラ	方式	超音波表面弾性波方式	
	表面処理	クリア	
	分解能	0.65mm	
	出力	RS232C/USB	
	応答速度	連続データの間隔：平均約 11ms/ データ (規定値)、 タッチ開始～タッチ送信開始：約 30ms 以下	
ディスプレイ 入力信号	映像信号	アナログ 0.7Vp-p (入力インピーダンス：75Ω)、 デジタル RGB (TMDS)	
	同期信号	セパレート、複合同期信号 TTL コンパチブル	
	水平周波数	30.0kHz ~ 61.0kHz	
	垂直周波数	55.0Hz ~ 75.4Hz	
表示色		最大 1667 万色 (8 ビット / 色)	
表示サイズ		304.1(H) × 228.1(V)mm	
輝度		ブライトネス 60% 設定時：220cd/m <sup>2</sup> (標準) ※ 出荷設定 ブライトネス 100% 設定時：400cd/m <sup>2</sup> (標準)	
信号コネクタ	映像信号	ミニ D-Sub15 ピン (メス) / DVI-D (メス)	
	タッチ信号	D-Sub9 ピン (オス) / USB type-B	
プラグ & プレイ		VESA DDC2B	
使用環境条件	周囲温度	0°C ~ 40°C	
	湿度	10% ~ 80%RH (結露なきこと)	
供給電源		DC12V / 2.5A (電源仕様) ・ DC12V / 1.5A (本体)	
消費電力		13W (出荷設定時) 16W (輝度最大設定時)	
適合規格		VCCI クラス B	
キャビネット	外形寸法	376(W) × 291(H) × 56(D)mm	
	ベゼル材料	プラスチック製	
	ベゼル色	ブルーグレー	
質量		約 3.5kg (本体のみ)	
ユーザーコントロール		OSD 機能	
	操作スイッチ・ボタン	SELECT/INPUT ボタン、+ボタン、-ボタン、MENU/EXIT ボタン	
	OSD 操作	輝度調節	輝度、コントラスト、リセット (輝度、コントラスト)
		色調節	オートカラー、9300K、6500K、ユーザーカラー
		画面調節	自動調節、垂直位置、水平位置、微調整
		ツール	シャープネス、入力切替、画面拡大、リセット
	OSD 調節	OSD 表示時間、OSD 表示位置 (水平 / 垂直)、OSD 表示方向、OSD ロック	

- 本機をコンソールなど筐体に組み込む際には使用環境条件 ※ を超えないよう通風設計には十分ご注意ください。  
また、表示面を垂直面より 15 度以上傾けて設置する場合は必ず、ファンなどによる強制通気をおこない、コンソールなど筐体内部に熱がこもらないようにしてください。  
また連続運転で使用する場合は、2 ~ 3 年周期でのオーバーホール (点検) を推奨いたします。  
※使用環境条件とは、本機の性能を保証できる運転 (動作) 時の本機周囲環境のことをいいます。  
(コンソールなど筐体の周囲温度ではありません。)

- 本機推奨の電源セット (AC アダプタ、電源コード) は別売となっております。

【ミニ解説】 視野角：白と黒のコントラスト比が 10 以上に表示できる角度を示します。

## ※ さくいん

<b>A～Z</b>			<b>か</b>			<b>た</b>		
Audio	11	外形寸法	20	タイミング	12			
Auto Color	11	各部の名称	6	タッチパネルが正常動作しない!	16,17			
Auto Image	11	画素ピッチ	20	タッチ通信ケーブル	9			
Bright Contrast	11	画面がちらつく!	16	タッチ通信コネクタ	7			
Brightness	11	画面上に黒点(点灯しない点)や輝点 (点灯したままの点)が少数ある!	16	タッチドライバのCD-ROM	7			
Change Input	11	画面調節	10	タッチドライバのインストール	13			
Color Control	11	画面に何も映らない!	16	適合規格	20			
Color Temperature	11	画面を切り替えても前の画面の 像が薄く残っている!	16	電源コード	7～9			
Contrast	11	機能	12	電源の接続	8			
Display Width	11	供給電源	20	電源入力コネクタ	7			
DPMS	12	ケーブルの固定	9	電源入力プラグ	8			
Exit	11	ケーブルの接続	9	同期信号	20			
Expantion Mode	11	工場プリセットタイミング	12	同期信号極性	12			
Frequency	11	故障かな?と思ったら	16					
H-Position	11	ご使用の前に	2	<b>な</b>				
Image Control	11	困ったとき	16	入力信号	12,20			
Information	11	コントラスト	11	<b>は</b>				
Language	11			パワーマネージメント機能	12			
OSD機能	10,11			ビデオ信号	20			
OSD Control	11			表示画素数	20			
OSD Direction	11			表示サイズ	20			
OSD H-Position	11			表示状態がおかしい!	16,17			
OSD Lock	11			付属品の確認	7			
OSD Timer	11			付録	19			
OSD V-Position	11			アフターサービス	18			
Phase	11			本体背面(コントロール部)	6			
Reset	11			本体背面(接続部)	7			
Reset Bright&Cont	11			<b>ま</b>				
Resolution	11			マニュアル調節	10			
Sharpness	11			<b>や</b>				
TFTカラー液晶パネル	20			ユーザーメモリ機能	12			
Tool	11							
Version	11							
VESA	12							
V-Position	11							
<b>あ</b>			<b>さ</b>					
アースリード線	8	質量	20					
アフターサービス	18	自動調節	10					
安全のために必ず守ること	3	自動画面表示	12					
位相	11	視野角	20					
映像信号ケーブル	7,9	仕様	20					
映像信号入力コネクタ	7	使用環境条件	20					
お手入れ	18	消費電力	20					
		数秒間画面が不安定になる!	17					
		接続	8					
		走査周波数	20					